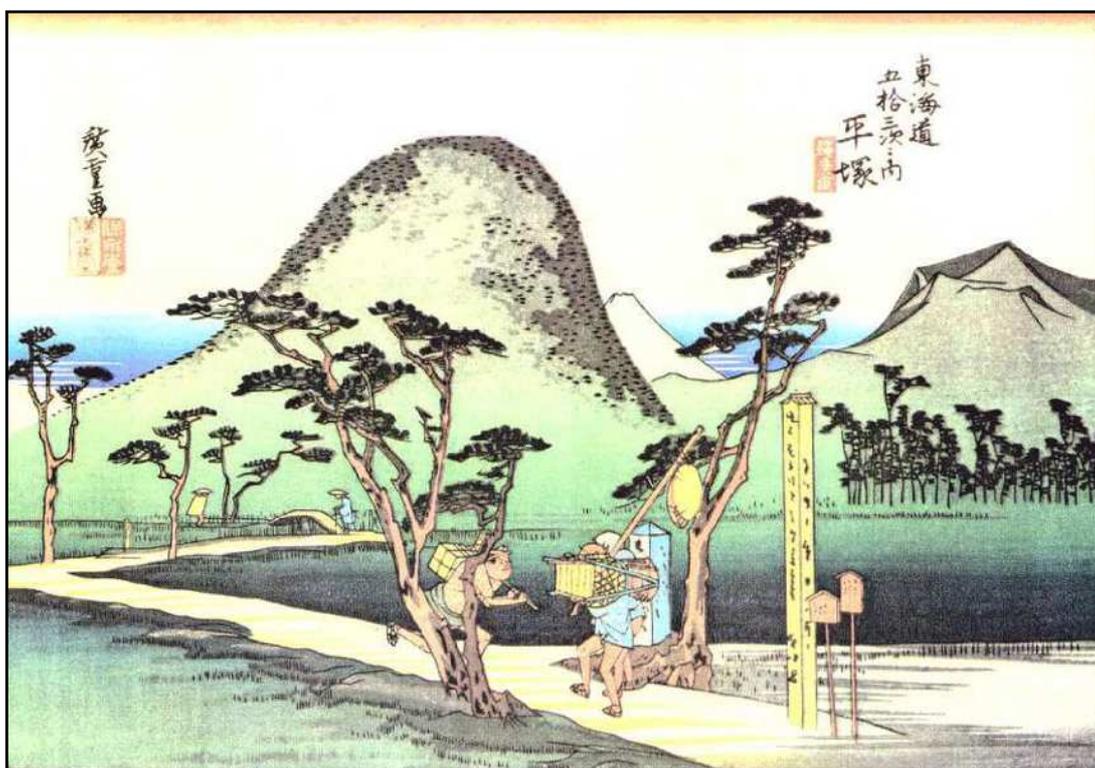


第71回市民総合体育大会



2023

主 催

平塚市教育委員会

主 管

平塚市スポーツ協会

後 援

平塚市体育振興連絡協議会
平塚市スポーツ推進委員協議会
西相地区高等学校体育連盟

目 次

大会開催要項	1
日程・会場	5
大会会場案内図	6
雨天時等による開催有無の決定について	7
大会役員	8
選手団役員	9
参加者数一覧表	10
総合開閉会式次第	11
令和4年度平塚市体育功労者	12
正式種目(得点の対象になるもの)	
軟 式 野 球	15
バスケットボール	17
バレーボール	19
剣 道	21
ソフトボール	31
射 撃	33
ボウリング	35
ソフトテニス	37
バドミントン	39
卓 球	41
サ ッ カ ー	45
陸 上 競 技	47
テ ニ ス	59
ゲートボール	61
パークゴルフ	63
公開種目(得点の対象にならないもの)	
水 泳	65
空 手 道	67
弓 道	69
柔 道	71
昨年度種目別成績一覧表	73
各回における種目別優勝地区名表	74
過去の総合成績	75
総合得点表	76

第71回市民総合体育大会開催要項

- 1 趣 旨 スポーツを愛好する多くの市民にスポーツ活動の機会を提供し、スポーツを通じて健康明朗な心身の育成を図ると共に、地域住民相互の親睦を図り、あわせて市民のスポーツの祭典とする。
- 2 主 催 平塚市教育委員会
- 3 主 管 平塚市スポーツ協会
- 4 後 援 平塚市体育振興連絡協議会・平塚市スポーツ推進委員協議会・西相地区高等学校体育連盟
- 5 期 日 令和5年10月29日(日)、11月12日(日)
※正式種目のボウリング競技については、10月22日(日)に実施
※公開種目の射撃(個人戦 エアーライフル競技)については、10月28日(土)に実施
- 6 競技種目
及び会場 (1) 競技種目は、得点の対象となる正式種目と、得点の対象にならない公開種目とする。
(2) 競技種目及び会場は別紙のとおり。
- 7 競技方法 (1) 地区対抗競技(地区体育振興会単位)とする。
(2) 団体競技については、各地区1チームとする。ただし、チームを編成することが困難な地区は合併(2地区に限る)して出場できる。
(3) 本要項に規定されている条項以外は、実施細目及び各競技別規則による。
- 8 表 彰 (1) 総合優勝地区に優勝旗、優勝杯、準優勝地区に準優勝杯を授与する。
なお、総合成績6位までの地区に賞状を授与する。
(2) 各競技種目の優勝地区に優勝杯を授与する。
なお、3位(ブロック優勝の場合は2位)までに賞状を授与する。
(3) 個人競技は3位までに賞状を授与する。ただし、陸上・水泳は優勝者のみ賞状を授与する。
(4) 次の条件に該当する1地区に敢闘賞(賞状)を授与する。
ア、上位6位に入賞した地区を除き、前回大会との順位差が5位以上、上がった地区のうち最も順位差が大きい地区とする。
なお、該当する地区が複数の場合は、総合成績が上位の地区とする。
イ、上記に該当する地区がない場合は、敢闘賞は授与しない。
- 9 順位の設定
及び順位点 (1) 総合順位は正式種目競技の順位点を合算し、その得点の多い地区から順次決める。
(2) 競技別順位点は、参加地区数により決める。
参加地区数24地区：1位24点、2位23点、以下順次1点差とする。
参加地区数20地区：1位20点、2位19点、以下順次1点差とする。
同位の場合はその得点を合算し、平均割とする。
(3) 雨天等により競技中止となったときは、2回戦以上行った場合はその時点で順位を分ける。
ただし、陸上は除く。
(4) 合併出場地区の得点は、順位得点を2分したものとする。
- 10 参加資格 (1) 参加申込み時に本市に住民票を有し、かつ居住する者で、住民票に記載された地区から出場すること。(地区体育振興会単位)
(2) 公開種目及び個人戦は本市に住民票を有し、かつ居住する者とする。
(3) 年齢要件は、別紙1「参加資格一覧表」参照。ただし、公開種目は各競技規則を参照。
(4) 小学生・中学生が参加する場合は、保護者の承諾を得た上で申込むこと。

- (5) 同日開催競技への参加は、1人1競技とする。
- (6) 年齢計算は令和5年4月1日現在とする。
- (7) 監督が選手を兼ねるときは、選手として規定人員内で申し込むこと。

11 参加申込

- (1) 正式種目は各競技別申込書に必要事項を記入の上、各地区で取りまとめて申し込むこと。
- (2) 公開種目は各競技別申込書に必要事項を記入のうえ、スポーツ課又は種目協会（連盟）へ申し込むこと。

(3) 申込期日 令和5年9月29日（金） 午後5時まで

※申込締切後は、一切受け付けない。

12 代表者会議 及び抽選会

- (1) 期 日 令和5年10月5日（木） 抽 選 会 午後7時00分～
代表者会議 午後7時30分～

13 注意事項

- (1) 選手変更は競技(両日にまたがる競技については両日とも可)の開始前までに、チームの責任者が文書をもって届け出て許可を得ること。但し、陸上競技については、当日の午前8時30分までに変更の手続きをすること。

- (2) 選手の変更は、エントリー数の2分の1を超えないこと。但し、射撃競技と剣道競技は2名、陸上競技は5名までの変更を認める。

※新型コロナウイルス感染拡大防止に起因し登録選手が出場できない場合は、上記の規定に加えて、選手変更を特別に認めるものとする。

（例）20人登録した種目で、2名がコロナに起因して欠場となった場合

⇒10名（登録選手の1/2）+2名（コロナに起因）=12名まで選手変更を認める。

- (3) 団体競技に無資格者があったときは、そのチームは失格とする。個人競技においては、その個人のみ失格とする。

- (4) 各競技において無資格者が発見された場合は、発見時をもって失格とする。失格の取り扱いは当該試合のみとし、以前の試合にはさかのぼらない。但し、失格となったチーム及び失格者が出たチームには、順位点は与えられない。

- (5) 出場チームのうち、同一の事業所及び学校(高校, 大学)で登録人員の過半数を占めてはならない。

- (6) 各競技別申込書（団体競技）には、必ず「勤務先・学校名」を記入すること。

- (7) 無資格者に関する通報等については主催者、また、審判上の問題については、主管団体に対し、監督が明確な根拠をもって行うものとし、それ以外は一切認めない。

- (8) 異議申し立てに対して、事実関係を確認し、主催者及び主管団体で協議の上、無資格者に関することは主催者、審判上の問題は主管団体が決定する。

- (9) 異議申し立ては、当該試合終了前までとし、試合終了後は認めない。

- (10) 試合時刻に来ない者(チーム)は棄権とみなす。(各種目試合規定のとおり)

- (11) 参加選手は地区名を明記したゼッケンを付けること。

- (12) 選手宣誓の地区は、代表者会議に於いて抽選により決める。

- (13) 新型コロナウイルス感染症対策については、別紙2「新型コロナウイルス感染症に係わる注意事項」を確認すること。

- (14) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となる場合がある。

以 上

第71回市民総合体育大会 参加資格一覧

小学生・中学生の参加については、保護者の承諾を得た上で申込むこと。

●正式種目(得点対象)

No.	競技 No.	種 目	参加資格			備考
			小学生	中学生	高校生以上	
1	①	軟 式 野 球			○	学生(高校生以上)は2名まで。 但し、学生野球団体に登録している選手は除く。
2	②・③	バスケットボール			○	
3	④・⑤	バレーボール			○	
4	⑥	剣 道			○	
5	⑦	ソフトボール			○	
6	⑧	射 撃			○	
7	⑨	ボウリング		○	○	
8	⑩	ソフトテニス		○※	○	競技経験が1年以上の者とする。
9	⑪	バドミントン			○	
10	⑫	卓 球	○	○	○	
11	⑬	サッカー			○	
12	⑭・⑮	陸 上 競 技		○	○	
13	⑯	テ ニ ス	○	○	○	
14	⑰	ゲートボール			○	
15	⑱	パークゴルフ			○	

別紙 2

新型コロナウイルス感染症に係わる注意事項

本ガイドラインは、大会全体の基本的な対策事項として定めたものであり、全ての競技に共通して本ガイドラインを遵守して大会を運営することとする。

なお、会場や競技の特性上、別途対策が必要な場合は、競技別実施要項において定めることとする。

1 基本注意事項

(1) 大会参加に際して

発熱、咳、倦怠感などの風邪症状及び嗅覚味覚を感じない等の体調異常がある者は大会に参加しないこと。

(2) 感染した場合の出場可否について

- ・発症した翌日から5日を経過し、かつ、症状軽快後1日経過した場合は出場可能とする。
- ・無症状での感染が判明した場合、検査日の翌日から5日を経過した場合は出場可能とする。
- ・症状軽快後も選手の体力低下が懸念されるため、出場可否については、保護者とよく協議した上で判断すること。

(例：10月23日(月)発症の場合)

翌日10月24日(火)を1日目とし、10月29日(日)の6日目から出場可能)

10/23(月)	24(火)	25(水)	26(木)	27(金)	28(土)	29(日)
コロナ発症	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目 症状軽快 療養期間終了	6日目 出場可能

2 その他

前年度実施した「体調管理チェックシート」の提出は求めません。

以 上

第 7 1 回市民総合体育大会の日程及び会場

【 1 0 月 2 2 日（日）、1 0 月 2 9 日（日）、1 1 月 1 2 日（日） 】

●正式種目（得点対象）

No.	競技	種 目	期 日			会 場
	No.		10/22	10/29	11/12	
1	①	軟 式 野 球		○	○	大神スポーツ広場、バッティングパレス相石スタジアム平塚
2	②・③	バスケットボール		○		ひらつか サン・ライフアリーナ
3	④・⑤	バレーボール		○		トッケイセキュリティ平塚総合体育館（第1・第2体育室）
4	⑥	剣 道		○		トッケイセキュリティ平塚総合体育館（第2武道場）
5	⑦	ソフトボール		○	○	大神スポーツ広場（H・I・K）（F・G）
6	⑧	射 撃		○		大井射撃場
7	⑨	ボウリング	○	○		神奈中平塚ボウル
8	⑩	ソフトテニス		○	予備日	軟式庭球場
9	⑪	バドミントン			○	ひらつか サン・ライフアリーナ
10	⑫	卓 球			○	トッケイセキュリティ平塚総合体育館（第1体育室）
11	⑬	サ ッ カ ー		○	○	馬入サッカー場
12	⑭・⑮	陸 上 競 技		○		レモンガススタジアム平塚
13	⑯	テ ニ ス		○	予備日	桃浜町庭球場・総合公園テニスコート
14	⑰	ゲートボール		○	予備日	四之宮ふれあい広場
15	⑱	パークゴルフ		○		木村植物園湘南ひらつかパークゴルフ場 ※予備日 11/5(日)

●公開種目（得点対象外）

1	水 泳		○		トッケイセキュリティ平塚総合体育館プール
2	空 手 道			○	トッケイセキュリティ平塚総合体育館（第2武道場）
3	弓 道		○		トッケイセキュリティ平塚総合体育館（弓道場）
4	柔 道		○		トッケイセキュリティ平塚総合体育館（第1武道場）
5	剣道（個人戦）		○		トッケイセキュリティ平塚総合体育館（第2武道場）
6	※射撃（個人戦）		○		大井射撃場

※アーライフル競技（個人戦）については、10/28(土)に平塚アーライフル射撃場（熊山ビル4階）にて実施

総合開会式：令和5年10月29日（日） 8：00～

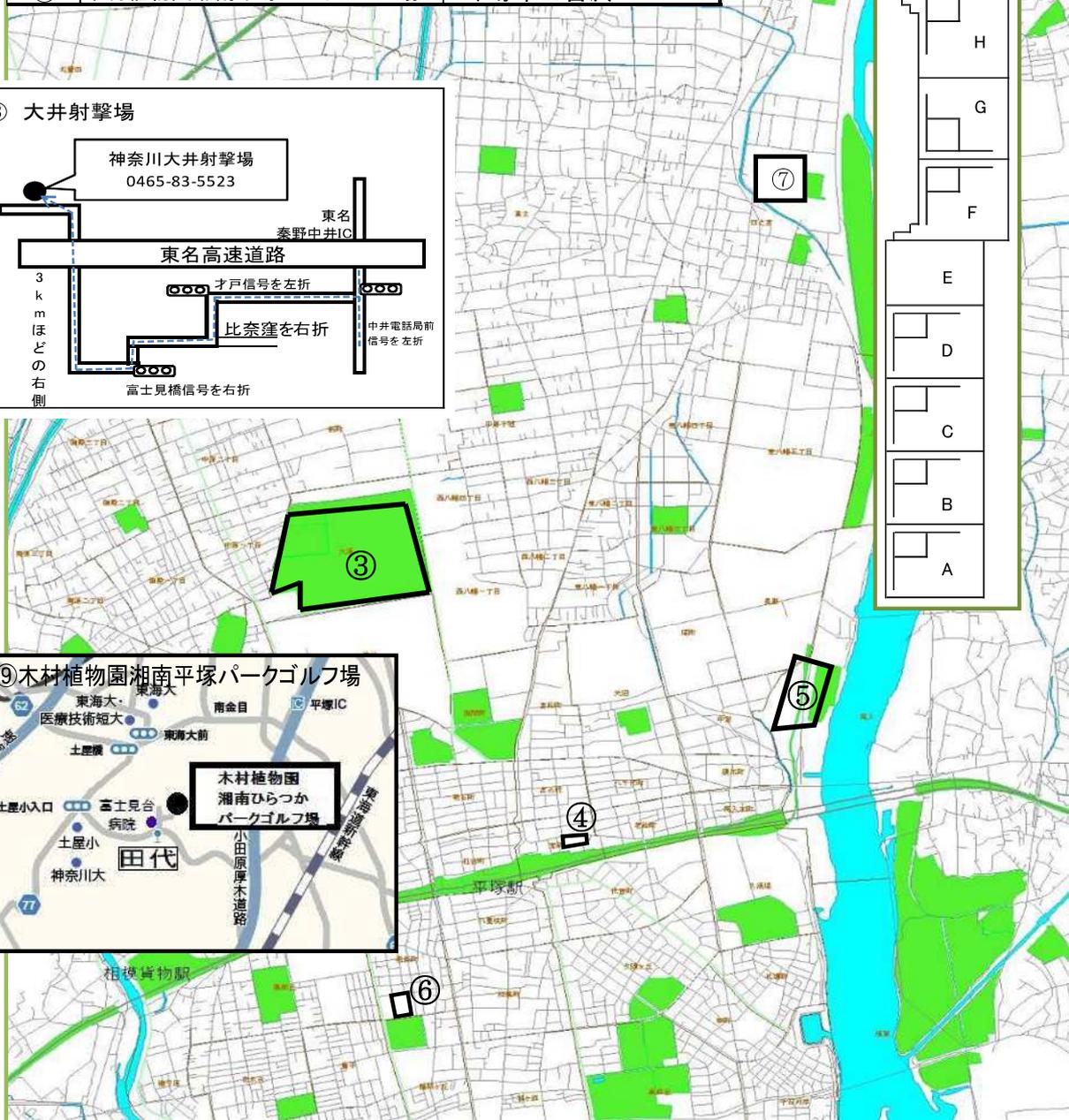
トッケイセキュリティ平塚総合体育館（第1体育室）

総合閉会式：令和5年11月12日（日）16：00～（予定）

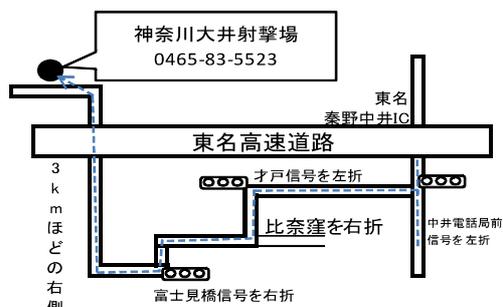
トッケイセキュリティ平塚総合体育館（第1体育室）

会場案内図

No.	会場名	住所
①	大神スポーツ広場	平塚市大神(相模川右岸河川敷)
②	軟式庭球場	平塚市田村9-25-1
③	レモンガススタジアム平塚	平塚市大原1-1
	総合公園テニスコート	
	トッケイセキュリティ平塚総合体育館	
④	神奈中ボウル	平塚市宝町2-1
⑤	ひらつかサン・ライフアリーナ	平塚市中堂246-1
	馬入サッカー場	(馬入ふれあい公園内)
⑥	桃浜庭球場	平塚市桃浜町34-8
⑦	四之宮ふれあい広場	平塚市四之宮4-19-1
⑧	大井射撃場	足柄上郡大井町赤田902
⑨	木村植物園湘南平塚パークゴルフ場	平塚市上吉沢1579-1



⑧ 大井射撃場



⑨ 木村植物園湘南平塚パークゴルフ場



天候不順などによる開催有無の決定について

競技の開催について、天候不順などによる『開催』または『中止』の決定の連絡は、次のとおりです。

1 晴天の場合

① ウェブサイトによる周知

○平塚市ウェブサイト・ひらつかスポーツナビにはアップいたしません。

② 電話によるお問い合わせ

○電話でのご案内は行いません。

2 雨天の場合（中止の場合のみ掲載します）

※屋外での開催競技について、午前7時に開催の有無を決定します。

① ウェブサイトによる周知

○午前7時頃に平塚市ウェブサイトのトップページ「新着情報」にアップします。

○午前7時頃にひらつかスポーツナビの「市からのお知らせ」にアップします。

② 電話によるお問い合わせ

○午前7時から午前7時30分に「臨時携帯電話」にてご案内します。

★臨時携帯電話 ⇒ 電話：070-4417-9674（当日のみ）

★平塚市ウェブサイト ⇒ <https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp>

★ひらつかスポーツナビ ⇒ <http://hiratsuka-sponavi.net/>

※下記の二次元コードから、トップページにアクセス可能です。



大会役員

名誉会長	落合 克宏						
会長	吉野 雅裕						
副会長	平井 悟						
名誉顧問	中田 勉						
顧問	坂間 正昭	出村 光	江口 友子	梶原 光令	守屋 宣成		
	菅野 和恵	大野かおり					
参与	陶山 正明	吉原さちえ	栗生 光一	高橋 佳久	傳田 實		
	鈴木登喜雄	高橋 篤	松本 靖史	平出 善男	畔柳 豪		
	今村 佳広	井上 純一	小林みゆき	岩井美由紀	村田 節子		
	首藤 幸子	中戸川康夫	原田香代子	河野 太郎	笠井 一栄		
	小泉一二三	奥山 晴治	三田 幸治	高山 和彦	熊山 幸男		
	府川 正明	田中 國義	米村 和彦	勝又 敬夫	小宮 節子		
	田代千知子	片倉 章博	宮田 融	星加 悦高	相馬 敬		
	府川 勝	真道 豊	新藤喜代子	山口 貞夫	清水 裕一		
	中山 正彦	田畑 滋弘	星野 光彦	飯野 保	板東 誠二		
	伊藤喜美雄	金子 栄治	中村 宏行	坂口 庄史	松下 明生		
	水島 稔	猪俣 友宏	原 正典	伊澤 和男	伊藤 宏		
	松川 成芳	佐藤昭四郎	山脇 克義	中野 文夫	鈴木 豊		
	中山 秀	根塚 公次	田中千勢子	金子 則昭	渡邊 兼行		
	川野 美輝	古正 博之	石川 潔	原田 茂	土谷 康夫		
	遠藤 修	佐藤 堯	高田 謙治	笹尾祐一郎	四宮 憲次		
	小笠原晴壽	柴野 隆一	露木 義男	松村 秀昭	石塚 崇		
	柳川 久子	山本 滋	鈴木 信之	小巻 伸治	廣瀬 久行		
	小林 卓見	鳥居 昌					
委員長	佐野 公宣						
委員	武藤 直人	片山 好正	小島 章治	木村 新一	八田 厚生		
	林 孝之	足立 和男	高梨 昇	平野 友也	岡崎 肇		
	紅林 秀幸	高橋 幸宏	佐藤 宗夫	金子 理人	木村 弘子		
	山本 健太	金田 正勝	上野 公之	清水 正明	細渕 桂介		
	新倉 年子	秋澤 秀人	上原 清孝	横山 邦夫	下村 均		
	山本 昇平	田中壽美栄	石川 行子	山田 和紀	天瀬 英俊		
	深田 安昭	鈴木 亮	伊藤 常春	伊澤 聡	的場 正道		
	杉本航一郎	石橋 隼	伊藤 百花				

選 手 団 役 員

地区名	団 長	副 団 長	総 監 督	総 務	総 務	総 務	総 務	事務局長
崇 善	山口 貞夫	本田 幸三	山口 聖	成瀬 伸一	伊藤 友子	古木 茉吏	渡辺久美子	—
港	清水 裕一	小澤勢津子	江藤 清	佐藤真理子	光永 貴明	渡邊 千秋	清田 宏明	田邊 克司
花 水	中山 正彦	貝瀬 清一	貝瀬 清一	塚田 和範	山口 弘子	小川 加奈	—	小川 加奈
松 原	田畑 滋弘	畑中 健	原 邦彦	廣瀬 誠	津田 耕史	新井十三夫	小幡 正幸	廣瀬 誠
富 士 見	星野 光彦	大山 俊郎	長尾 共清	阿久津徹也	内藤 正子	細谷 信子	野島 正直	村山 美明
神 田	飯野 保	田中壽美栄	小宮 伸一	田中 公一	大塚 敬三	瀧口 由江	松井みどり	土田 英忠
岡 崎	坂東 誠二	大浦 順子	深田 忠一	土屋 安彦	高岡 康子	飯塚 幹	菅野 憲治	市川 広行
金 目	伊藤喜美雄	柏木 秋弘	青谷 智巳	杉山 春司	—	—	—	河野 和一
中 原	金子 栄治	大木 康史	富永 涉	高橋 千寿	竹内 弘充	小林 和彦	露木 晶子	中野名穂子
豊 田	中村 宏行	額田 克明	原 正人	松野 稔	松村 圭二	—	—	朽方 太一
金 田	坂口 庄史	重田 昌巳	畠中 直人	金子 純子	前田 紀子	佐藤 祐司	大塚 達也	尾崎 安昭
城 島	清田 一美	石塚 崇	松下 明生	黒木 昌明	相川いづみ	一杉 智史	嶋崎 翼	土屋 裕一
土 屋	水島 稔	内海 俊幸	関野 武	安池 義治	天野 隆司	遠藤 壽浩	内藤 ゆみ	鈴木 美幸
吉 沢	猪俣 友宏	二宮 雄治	佐藤 政良	熊沢 弘恵	猪俣 栄一	二宮 竹弘	小多 洋	小清水 豊
南 原	原 正典	岩田 茂男	遠藤 年彦	阿知波衣里	—	—	—	—
横 内	伊澤 和男	上杉 充	府川 弘	—	—	—	—	小口 文江
なでしこ	高橋 佳久	松本 満	傳田 實	大久保慎一郎	中川 早苗	山本 一幸	栗原 伸行	熊川 泰成
真 土	伊藤 宏	渡辺 淳	伊藤 宏	小鹿 園珠	荻山 薫	—	—	山口 耕治
四 之 宮	松川 成芳	榎 清則	相原 勝美	伊藤 優	池内 宣男	山地 礼子	人見 美絵	相原奈津代
八 幡	佐藤昭四郎	前田 俊隆	荒木 正真	高梨 昇	吉川 一郎	桑原 修	杉山 行正	加藤 良信
松 が 丘	山脇 克義	平原 誠一	熊谷 俊二	齋藤千枝子	池田 宏	蔭山みつよ	徳満すみえ	千葉貞一郎
旭 南	澤野重次郎	廣瀬 久行	中野 文夫	須藤 量久	渡辺 博美	鈴木 晴雄	鈴木 智春	吉川 竜海
旭 北	伊川 直樹	小林 卓見	鈴木 豊	高橋 政己	佐藤 啓子	木暮 恵子	久吉 佳子	岡山 智彦
大 神	中山 秀	伊藤喜代美	樋口 英光	杉浦佐智子	沼田 静雄	金子 厚子	竹之内 力	高橋千賀子

第71回 市民総合体育大会種目別（団体戦） 参加者数

番 号	番 号 種 目 区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	合 計
		軟 式 野 球	バ ス ケ テ ニ ス 男 子	バ ス ケ テ ニ ス 女 子	バ レ ー 男 子	バ レ ー 女 子	剣 道	ソ フ ト ボ ー ル	射 撃	ボ ウ リ ン グ	ソ フ ト テ ニ ス	バ ド ミ ン ト ン	卓 球	サ ツ カ ー	陸 上 競 技 男 子	陸 上 競 技 女 子	テ ニ ス	ゲ ー ト ボ ー ル	パ ー ク ゴ ル フ	
1	崇善	-	-	-	15	10	4	-	-	6	-	5	9	21	5	-	8	6	6	95
2	港	20	16	-	-	16	3	15	3	5	15	12	8	21	9	2	10	7	5	167
3	花水	19	15	16	10	16	4	15	4	6	16	13	9	21	9	1	10	7	6	197
4	松原	-	-	-	-	-	-	-	3	6	-	-	8	21	-	-	10	-	-	48
5	富士見	20	16	16	12	11	4	16	3	5	12	9	9	21	9	5	8	6	5	187
6	神田	-	15	-	7	-	-	15	-	5	12	13	9	20	2	-	10	7	6	121
7	岡崎	18	15	-	9	12	4	15	4	5	4	12	10	20	-	-	7	-	6	141
8	金目	20	7	-	15	13	4	15	3	5	-	12	10	21	3	-	10	-	6	144
9	中原	16	16	16	-	-	4	-	3	5	6	12	10	19	7	4	7	-	6	131
10	豊田	20	6	6	-	-	-	15	3	6	-	-	10	21	1	-	-	6	6	100
11	金田	15	-	15	15	14	4	15	4	5	14	12	9	21	4	-	10	6	6	169
12	城島	-	-	-	-	-	-	15	-	-	10	10	-	21	-	2	10	7	6	81
13	土屋	18	-	-	15	15	-	-	-	5	10	7	-	13	-	-	-	9	5	97
14	吉沢	19	-	-	15	-	3	16	-	5	5	12	9	16	7	4	11	-	5	127
15	南原	-	12	11	-	3	4	-	-	5	-	12	9	21	8	-	-	-	5	90
16	横内	-	16	-	5	-	4	-	3	6	-	10	-	21	-	-	-	-	5	70
17	なでしこ	-	16	15	4	10	-	-	3	5	-	12	-	21	2	-	10	-	-	98
18	真土	20	15	12	14	15	-	16	3	6	10	12	8	20	11	3	9	9	6	189
19	四之宮	19	15	15	11	15	-	16	3	6	8	13	8	21	12	7	10	8	5	192
20	八幡	-	-	6	-	-	-	15	3	5	-	-	8	21	-	-	9	-	5	72
21	松が丘	20	-	4	-	-	-	-	-	5	13	-	11	21	-	-	10	-	6	90
22	旭南	18	-	-	-	12	4	15	-	6	-	13	8	21	5	1	10	-	6	119
23	旭北	19	16	16	14	11	3	16	3	5	11	12	8	20	16	11	9	7	6	203
24	大神	-	-	-	-	-	-	-	3	5	12	12	-	-	3	1	9	7	5	57
合計		281	196	148	161	173	49	230	51	123	158	225	170	464	113	41	187	92	123	2985
チーム数		15	14	11	12	13	13	15	16	23	13	19	19	23	17	11	20	13	22	

☆監督含む（但し、選手兼監督は選手としてカウント）

☆男女種目で監督が同じ場合は、男子種目にカウント

※バスケ（女子）は、八幡と松が丘が合同

※バレー（男子）は、花水となでしこ、神田と横内が合同、岡崎と城島が合同予定

※バレー（女子）は、南原と旭北が合同

※ソフトテニス、岡崎と城島、土屋と吉沢が合同

※バドミントンは、崇善と土屋が合同

総合開会式次第

令和5年10月29日（日） 午前8時

於 トッケイキュリティ平塚総合体育館

- 1 優勝杯・準優勝杯返還 前大会優勝 旭北地区
前大会準優勝 花水地区
- 2 レプリカ贈呈
- 3 あいさつ
- 4 来賓祝辞
- 5 選手宣誓 城島地区 代表選手
- 6 平塚市スポーツ功労者表彰 ※P12を参照

総合閉会式次第

令和5年11月12日（日）午後4時頃

※テニス競技が1日目順延の場合は、午後5時頃

於 トッケイキュリティ平塚総合体育館

- 1 成績発表・表彰
- 2 あいさつ
- 3 来賓あいさつ

(大会本部) トッケイキュリティ平塚総合体育館A会議室

(総合公園体育館：電話35-2233)

(携帯：070-4417-9674)

(大会速報) トッケイキュリティ平塚総合体育館エントランスホール中央入口前

令和5年度平塚市スポーツ功労者

No.	氏名	項目	功績	推薦者
1	きたの 北野 ひろし 博史	1	平塚市テニス協会に、実業団から30歳で理事として就任され、以後42年間もの永きにわたり第一線にてテニスの振興に尽力され、平塚選手権等のトーナメントの運営、協会会員や一般市民へのテニスの普及など社会体育の発展に寄与された実績は顕著であります。その間、副理事長、副会長へと協会の要職につき、健康スポーツ普及のために老若男女が幅広くテニスに親しんでいただく大会や、さらには長寿社会に貢献すべく数々の企画を打ち出し、女性の方が気軽に参加できる「湘南レディーステニス大会」、一日500円でテニスを楽しめる「ワンコインテニスフェスタ」や「シニアテニス大会」などの事業また、専門医を招聘し「スポーツ医学の座学講習会」等選手自身の体の管理に対する意識の醸成、市民の健康増進にも理事の中心となり活動しております。 神奈川県テニス協会においては、平塚市テニス協会における企画、運営の実績を評価され令和2年度に理事に就任、直ちにベテラン委員長として、主要大会であるベテラン大会の委員長を任せられおおいに実力を発揮し、大会ディレクターとして安定した大会運営を行いました。更には令和4年度から一般対象者を含む大きな大会を運営する行事副委員長を兼任(行事委員長代行)し、主要な大会である神奈川県テニス選手権等のトーナメントディレクターを務め成功に導くなど、現在は神奈川県テニス協会においても中心的な存在として活動を行っております。 以上の観点からも、平塚市スポーツ功労者にふさわしい実績とその貢献度は大きいものと判断されます。よってここに北野博史氏を功労者として推薦させていただきます。	平塚市スポーツ協会 会長 中田 勉
2	おおのぎ 大野木 しんいち 進一	1	高校を卒業した1973年から現在まで、創立60年以上の平塚バスケットボール協会加盟チームである黒部ヶ丘クラブに在籍しており、1996年からは指導に専念し、後進の育成に尽力している。 指導においては、所属クラブだけでなく、ミニバスケットボールやママさんチーム等、様々なカテゴリーで永年にわたり指導にあたり、公認審判員としても23年間活躍した。 平塚バスケットボール協会においては、1974年、競技委員に就任した。その後、競技委員長、副理事長、理事長、顧問を経て、2011年から現在まで副会長として、日本リーグをはじめ、各種大会や競技運営に尽力する等、50年間にわたり、地域のバスケットボールの普及・発展に貢献した。 神奈川県バスケットボール協会においても、永年、競技委員を務め、県クラブ連盟会長、その後の組織改革によるカテゴリー統合後の県社会人連盟副会長として、現在まで活躍中である。以上、バスケットボール競技の普及発展に寄与した功績は顕著である。	平塚市スポーツ協会 会長 中田 勉
3	いいの 飯野 たもつ 保	1	平成21年に神田地区体育振興会(以下 神田体振)に入会。 “神田地区住民の体育の振興と普及を図り健康で明るい地域社会づくりをめざす”をモットーに神田地区の体育振興に活躍している。 平成24年度より副会長、平成28年度より会長の職を歴任、自治会及び地域諸団体と連携し、地域の発展に寄与している。 市民総合体育大会では、全競技種目エントリー、市内駅伝競走大会では毎年度出場を目指し、地域の振興及び交流にも尽力している。 地区の行事・イベントについても神田体振として積極的に参加し、地域住民の親睦を図っている。 令和2年度より平塚市体育振興連絡協議会の副会長となり、本部役員として体育振興の発展に努めている。 令和4年度には、体振60周年記念誌の編集委員長を務め、各地区体育振興会から選出された編集委員と共に記念誌を作成し、平塚市体育振興連絡協議会の節目となる60周年記念事業に大きく貢献した。	平塚市体育振興連絡協議会 会長 高橋 佳久
4	あがり 上利 かずえ 一枝	1	・平成18年4月1日、旭北地区体育振興会推薦により、平塚市スポーツ推進委員を委嘱され、現在に至る。 ・平成16年4月1日から旭北地区体育振興会の役員として、地区体育振興の発展に寄与している。 ・平塚市スポーツ推進委員協議会においては、平成24年4月1日から現在まで、研修部員として市内外の研修会やイベントに従事し、地区のみならず市全域のスポーツ推進に尽力している。	平塚市スポーツ推進委員協議会 会長 首藤 幸子
5	ながい 長井 みさお 操	1	(1) 中学校からバレーボールを始め平塚クラブチームで青年大会出場する。 (2) 1996年地域のママさんバレーボールチームより誘われ入部。チームの中心となり各大会で優勝する。 (3) 2007年、チームの代表・監督・選手を兼務し登録チームの推薦委員により、平塚ママさんバレーボール協会の役員になり会計に就任。協会が主催する役員会、総会、代表者会議、各種大会等の会計業務を行っている。 (4) 2007年会計に就任して以来、現在まで16年間に渡り平塚ママさんバレーボール協会に献身的に貢献している。	平塚レクリエーション連盟 会長 河野 太郎
6	おおかわら 大河原 じゅんじ 順二	1	昭和63年に金目小学校区内の軟式少年野球チーム「金目ファイターズ」のコーチに就任。礼儀とマナーと思いやりを大切に、社会性を身につけさせる指導をしており、現在は副代表として指導にあっている。平成6年に平塚市少年野球連盟西部支部の役員に就任、平成27年に西部支部理事長に就任とともに平塚市少年野球連盟本部役員副会長に就任し、平塚市少年野球大会他、各種少年野球大会などの実行委員として大会運営の中心的な役割を務めている。また、少年野球底辺拡大のためチビっ子育成野球大会の開催や野球教室開催などの事業に積極的に取り組むとともに、連盟内事業の企画・運営に献身的に活動している。昭和63年より35年間にわたり、平塚市の青少年スポーツの振興・発展に寄与した功績は大きい。	平塚市スポーツクラブ連合 会長 八田 力
7	まきはら 牧原 むしめ 良美	1	少年野球の指導者として平成16年頃より約7年間従事し、その間父母会会長及び平塚市少年野球連盟北部支部役員を経験し、少年野球発展のために従事しました。 平成18年頃より平塚市中学軟式野球連盟に所属し大野地区の代表として大野中学校の校外指導員を経験し、小学生及び中学生の野球指導に大変貢献しました。 その間中学連盟の本部役員として大会運営に大変尽力されました。更に平塚市主催の夏の大会には役員として少年野球の発展に大変貢献しております。又、ボランティアとして湘南国際マラソンに通算7回参加・協力しております。	平塚市中学軟式野球連盟 会長 柿崎 芳規

